

前立腺癌のマーカー：C2GnT1

前立腺癌の悪性度や予後のほか、前立腺肥大症との識別も可能です！

概要

前立腺特異抗原(PSA)は前立腺がん(Pca)の診断に用いられる血中マーカーである一方、前立腺肥大症(BPH)患者血中でも検出されるため、PcaかBPHかの判断が困難な測定値領域が存在する。

本発明は、PSA分子に付加され、がんの転移などに関与するO-グリカンの生合成にかかわるコア2β1,6-N-アセチルグルコサミニルトランスフェラーゼ1(C2GnT1)をマーカーとする、Pcaの悪性度とその予後、並びにBPHの識別方法に関する。

効果

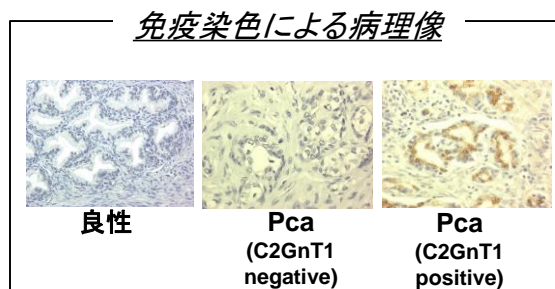
- ・C2GnT1を特異的に認識するモノクローナル抗体を用いた染色により、Pcaの悪性度が判断できる。
- ・前立腺摘出手術の患者を対象とすると、病理組織染色においてC2GnT1が陽性の場合、予後が悪い。
- ・液性試料(前立腺マッサージ尿)を用いると、BPH患者由来の試料の場合、C2GnT1は陰性である。

特許データシート

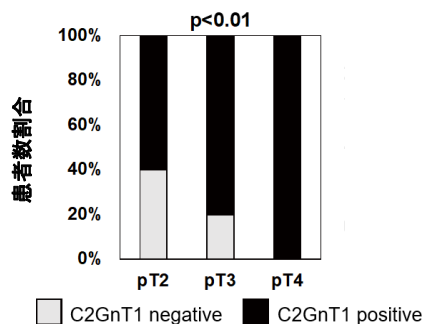
特許番号:特許第6183880号(K13-001)

発明者 : 大山 力、米山 徹、飛澤 悠葵、畠山 真吾

前立腺全摘除標本におけるC2GnT1発現と手術の予後

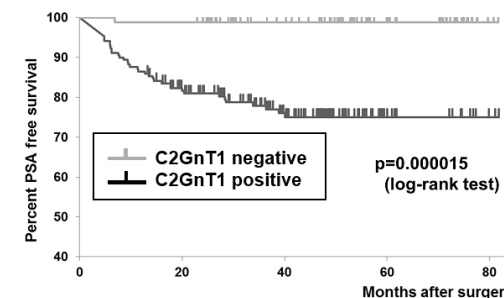


C2GnT1とPca悪性度の関係



①C2GnT1の陽性率が高いほど、Pcaの悪性度は高い ③C2GnT1の陽性率が高いほど、Pcaの蓋然性は高い

前立腺全摘後C2GnT1の発現の有無とPca再発率の関係



②C2GnT1の陽性率が高いほど、Pcaの再発率が高い

PcaとBPHの識別

	Pca	BPH
C2GnT Positive	15/29 (51.7%)	1/19 (5.3%)
C2GnT Negative	14/29 (48.3%)	18/19 (94.7%)

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

問い合わせは[こちら](#)からお願いします。